

北海道知事 様

2013年12月 日

特定非営利活動法人北方アジア文化交流センターしゃがあ
理 事 西村 幹也 印
電話番号 0135-42-2252

事 業 報 告 書 等 提 出 書

次に掲げる前事業年度(2012年9月1日から2013年8月31日まで)の事業報告書等について
特定非営利活動促進法第29条第1項の規定により、提出します。

記

- 1 前事業年度の事業報告書
- 2 前事業年度の財産目録
- 3 前事業年度の貸借対照表
- 4 前事業年度の収支計算書
- 5 前事業年度の役員名簿
- 6 前事業年度の社員のうち10人以上の者の氏名(法人にあつては、その名称および代表者の氏名)及び住所又は居所を記載した書面

2013年度事業報告書

2012年9月1日から2013年8月31日まで

特定非営利活動法人北方アジア文化交流センターしゃがぁ

1 事業の成果

運営費用の確保は困難な状況にあるのは変わらないが、当 NPO の基幹事業である「遊牧の民の調べコンサート」は、確実に開催回数や総動員数は増えている。各地の教育委員会や校長会、また支援者の方々に様々な形で援助をいただきながら、経営状況は厳しいながらも、本来、目的としている子供たちを対象とした演奏会としては非常に大きな成果を残していると考えられる。特に、小学校などでの演奏会は、非常に好評を頂いており、早くから次年度の演奏予約が入るなどしている。しかし、その一方で一般向けコンサートからの収入は減っている。東京では昨年に引き続き 100 人以上を動員するコンサートが開催できているが、他地域ではふるわない。せめて大都市圏で 2,3 か所動員 100 人以上規模のコンサートを開催する為の方法を考えねばなるまい。

博物館建築作業は、諸般の理由により、2012 年秋よりなんの進展もないまま時間が過ぎてしまった。しかし、民具の收拾活動は、特にカザフ民族の生活道具などを中心に進んでいる。一刻も早い開館を目指したい。

写真展やアマルバト氏の切り絵展など、資料の貸し出しは活発になっており、いずれも反響が大きく、NPO 自体の宣伝に一役買ったのは間違いない。

スタディツアーは、タヒの行動観察ツアーが初めて開催されるに至った。

なお、今年度よりウランバートルの小学校にそろばんを届けるプロジェクトを開始した。現在、そろばんを集めている。

2 事業の実施に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報発信事業	会報「モンゴル情報誌しゃがぁ」vol.50発行	13年5/1	全国各地	2人	会員向け及び希望者約200名	12
情報発信事業	会報「あるがり」vol.03発行	13年5/1	全国各地	2人	会員向け及び希望者約200名	85
情報発信事業	Webサイト「モンゴル情報局しゃがぁ」にて写真掲載	随時	Internet上	2人	不特定多数	
情報発信事業	Webサイト「モンゴル情報局しゃがぁ」にて写真掲載	随時	Internet上	2人	不特定多数	
旅行企画事業	スタディツアー「野生馬タヒの行動観察ボランティア」	13年8/11-13年8/18	モンゴル国	2人	2人参加者の他、地域住民約30人	253
演奏・講演・展示事業	「いのち-大地に生きる-」(写真展)	12年12/20-13年4/9	日本モンゴル民族博物館	2人	会場入場者数2000人	18
演奏・講演・展示事業	「遊牧の民の調べコンサート」	12年1/16-3/16	全国各地	5人	聴衆・観客約4000人	1400
演奏・講演・展示事業	「モンゴルの切り絵と文様展」-アマルバト切り絵作品展-	13年4/10-7/30	日本モンゴル民族博物館	2人	会場入場者数	35
演奏・講演・展示事業	「西村の見たモンゴル」(写真展)	13年1/24-2/1	大阪 TinaLente	2人	会場入場者数1200人	45
調査研究事業	中国内モンゴル自治区フフホトおよびシリントを中心とした観光産業の変化および遊牧状況に関する調査・取材	12年8/20-9/2	中国内モンゴル地域	1人	地域住民約5人他報告書読者/不特定多数	15

決算報告書

第 6 期

自 平成24年 9月 1日

至 平成25年 8月31日

NPO法人北方アジア文化交流センターしゃがあ

虻田郡京極町字川西304番地 4

特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

NPO法人北方アジア文化交流センターしゃがぁ

(単位：円)

自 平成24年 9月 1日 至 平成25年 8月31日

《経常収支の部》

[経常収支の部]

【経常収入】

事業 収入

演奏・講演・展示事業 2,272,100

情報発信事業 120,640

旅行企画事業 150,000

助成金収入 440,000

賛助会員会費収入 54,000

寄付金収入

NPOしゃがぁ 10,000

受取利息収入 26

経常収入 計

3,046,766

【事業費】

事業 支出

演奏・講演・展示事業 1,498,683

調査・研究事業 14,542

情報発信事業 97,480

旅行企画事業 253,400

旅費交通費（事業） 17,220

給料 手当（事業） 1,000,000

消耗品（事業） 111,320

通信費（事業） 29,058

当期事業費 計

3,021,703

合 計

3,021,703

事業費 計

3,021,703

【管理費】

通 信 費 55,918

水道光熱費 37,863

旅費交通費 44,233

事務用消耗品費 6,964

新聞図書費 6,678

租税 公課 70,700

雑 費 700

管理費 計

223,056

経常収支差額

△197,993

[その他資金収支の部]

【その他資金収入】

その他資金収入 計

0

【その他資金支出】

その他資金支出 計

0

当期収支差額

△197,993

前期繰越収支差額

△1,537,742

次期繰越収支差額

△1,735,735

特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

NPO法人北方アジア文化交流センターしゃがぁ

(単位：円)

自 平成24年 9月 1日 至 平成25年 8月31日

《正味財産増減の部》

【正味財産増加の部】

正味財産増加の部 計 0

【正味財産減少の部】

当期収支差額 197,993

正味財産減少の部 計 197,993

当期正味財産増加額 △197,993

前期繰越正味財産額 △1,783,493

当期正味財産合計 △1,981,486

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

(単位：円)

NPO法人北方アジア文化交流センターしゃがぁ

平成25年 8月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金

64,870

当座預金

郵便振替 1

148,290

郵便募金口座

4,000

普通預金

ゆうちょ銀行

158,146

三菱東京UFJ銀行

1,885

北海道労働金庫

1,008

ゆうちょ岡田

3,064

現金・預金 計

381,263

流動資産合計

381,263

資産の部 合計

381,263

《負債の部》

【流動負債】

短期借入金

西村幹也

2,359,749

流動負債 計

2,359,749

負債の部 合計

2,359,749

正味財産

△1,978,486

その他の事業該当なし

特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

NPO法人北方アジア文化交流センターしゃがぁ

(単位：円)

平成25年 8月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		短期借入金	2,359,749
現金	64,870	流動負債 計	2,359,749
当座 預金	152,290	負債の部合計	2,359,749
普通 預金	164,103		
現金・預金 計	381,263	正味財産の部	
流動資産合計	381,263	【基金1】	
		基金 1	3,000
		基金1 計	3,000
		【正味財産】	
		正味 財産	△1,981,486
		(うち当期正味財産増加額)	△197,993
		正味財産 計	△1,981,486
		正味財産の部合計	△1,978,486
資産の部合計	381,263	負債・正味財産の部合計	381,263

その他の事業該当なし

その他の事業会計損益計算書

NPO法人北方アジア文化交流センターしゃがあ

(単位：円)

自 平成24年 9月 1日 至 平成25年 8月31日

《経常収支の部》

[経常収支の部]

【経常収入】

事業 収入	2,542,740
助成金収入	440,000
賛助会員会費収入	54,000
寄付金収入	10,000
受取利息収入	26

経常収入 計

3,046,766

【事業費】

事業 支出	1,864,105
旅費交通費 (事業)	17,220
給料 手当 (事業)	1,000,000
消耗品 (事業)	111,320
通信費 (事業)	29,058

当期事業費 計

3,021,703

合 計

3,021,703

事業費 計

3,021,703

【管理費】

通 信 費	55,918
水道光熱費	37,863
旅費交通費	44,233
事務用消耗品費	6,964
新聞図書費	6,678
租税 公課	70,700
雑 費	700

管理費 計

223,056

経常収支差額

△197,993

当期正味財産増加額

△197,993

前期繰越正味財産額

△1,783,493

当期正味財産合計

△1,981,486

その他の事業該当なし